



2025年12月20日
第782号

JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
電話 03-5315-0941
発行人 加藤誠 編集人 湯ノ目アヤ子
毎月1回20日発行/一部20円
(組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

第44回定期大会以降の拡大
(2025.6.12~)



JR東労組で共に頑張っていきましょう！

労使議論の内容を覆すような姿勢、 施策実施ありきで一方的に進める 経営姿勢は許さない！

12月17日、申10号「企業型確定拠出年金の導入」を実施
ありきで労使議論を蔑ろにして一方的に進めてくる経営姿勢をただす緊急申し入れを提出！

申5号「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」に関する申し入れ（その2）について、労使でスケジュールを調整しながら精力的に団体交渉を行ってきています。

その様な中、会社として企業型確定拠出年金の導入の準備を進めいかなければならないということから、申5号の一部である【確定拠出年金の導入】について項目の順番を変えて団体交渉を行い、【確定拠出年金の導入】に特化した労使の合意文書を締結して進めていくことを労使で一致してきました。しかし、会社から「伝え漏れた」との理由で前段の労使議論が覆され、予定していた団体交渉の席に着くことができませんでした。

よって、申10号を提出し、議論を行わざるを得なくなりました。（詳細については業務部速報No.91、92をご参照ください）

今施策において、今回以外にも団体交渉の席に着くことができなくなつたことが繰り返し発生しています。労使双方で調整して設定した団体交渉が開催できずに、労使議論の時間が減らされていることを会社は認識すべきであり、対策を講じることを強く訴えました。

会社からは、担当者双方のコミュニケーションの課題に切り縮めることなく、確認したことが覆されたと認識する事態になったことについて課題であること、繰り返されていることは認識すること、組合からの指摘を受け止めることができました。

そして、労使間の取扱いに関する協約を踏まえて誠実に対応していくことに変わりなく、一方的に進めることなく労使双方でやりとりをした上で進めていくことを確認し、企業型確定拠出年金の導入についての議論を行いました。

【確定拠出年金の導入】についての議論は申10号として行いましたが、申5号の議論は引き続き、たたかいのスローガンのもと臨んでいきます！



12月6日、浦和「ルソホール」にて「全地本代表者会議」を開催し、第44回定期大会以降のたたかいの総括を行いました。主催者あいさつで加藤中央執行委員長からは、年末手当のたたかいで3・0ヶ月十・1ヶ月という回答を聞いてどう感じたかを相互議論することの大しさや、職場に踏まえた運動を仲間と共に構想することで組織強化・拡大につなげていくこと、不当労働行為やハラスメントを許さず、大宮地本をはじめ最先頭でたかう仲間と強く連帯することの重要性などを訴えました。

業務課題、組織課題、当面する課題について本部から提起した後、全体討論は23名の発言によって議論を深めました。たたかいの成果と課題、苦労や悩みが語られ、それぞれの実践と、教訓を共有することができました。

年末手当のたたかいで一体感をつくり出すことができたことと、たたかいの最中に11名の組織拡大を実現したことの成果を確認しました。そして、連帯を深めて裁判闘争の勝利と組織強化・拡大をかちとつていくこと、命と安全を第一とする職場と、安心してJR東労組に加入できる健全な会社をつくり出していくことを確認しました。

【安全・施策】「安全第一」が単なるスローガンになつてゐることに危機感を持つ。運行優先に立ち向かわなければ安全にはならない／臨時列車を土日以外にも運行させ150%の働き度をすでにさせられている／横浜駅での笛吹鳴の事象について、原因究明委員会を開催するなど横浜支部や大船支部と連携してたたかいをつくり、し入れに高めてきた／草木が生い茂つて見えない箇所があつたことについて「面

【過半数代表選・組織強化・拡大】過半数代表選に立候補した。決意表明の内容が労働組合が関与しているように決めつける姿勢抜くことを議論し、常駐体制でも議論をつくり出してきた／掲示板を活用して短冊行動を実践し、職場からのたたかいをつくれたことは自信につながった／人材流出をくい止め人材を確保するために、いかに組合員の声を訴えるかというたたかいをつくってきた

【ハラスメント・不当労働行為】賃金控除依頼書を会社に提出する時に、不当労働行為を受けた仲間がいる／バス関東でも管理者によるパワーハラスメントで組合員が休職に追い込まれている。最後まで本人に寄り添つてたたかうの立場だったからという理由で応援してくれた／分会大会への結集にこだわり組合員に向き合い運動をつくり出してきた。遠距離通勤者や育児中の組合員が参加しやす

いように、時間帯や子ども連れ参加OKなど工夫した分会もあつた／時間をかけて関係を築き、会社への不安や不満、悩みや愚痴を聞くことと、組合の存在意義を感じるもうい組織拡大を実現することができた



発言の主な内容

【年末手当のたたかい】出さない理由ばかり述べる会社。騙されることなくたたかい

【年末手当のたたかい】出さない理由ばかり述べる会社。騙されることなくたたかい